

叡啓大生 1日限りのカフェ

基町ショッピングセンターで企画 住民と語る

4年永井さんら 憩いの場 常設目指す

広島市中区の基町ショッピングセンターの多目的スペースに23日、1日限りのカフェがお目見えした。叡啓大（広島市中区）の学生が、高齢化の進む地域の活性化などを目指し、コーヒーや音楽を楽しむイベントとして企画。周辺の住民や学生たちが集まって、交流を深めた。（口元惇矢）



ピアノの音色が響く会場でコーヒーを楽しみ、語り合った1日限定のカフェ

叡啓大の「コーヒークルシステムデザイン学部」ラフ部長で、ソーシャ4年の永井マイケルさん（23）が企画。呼びかけに応じた学内の有志と10人で運営した。永井さんがハンドドリップで入れるコーヒーのほか、ピーガン（完全菜食主義者）、グルテンフリーに対応したパウンドケーキを提供した。

コーヒーにちなみ、人生の苦みについて考えるワークショップも。大学関係者や地域住民がコーヒーを飲みながら語り合った。市営基町高層アパートに住む大野芳恵さん（76）は「若い人たちと話をするのは楽しい」と笑顔だった。

永井さんは今後、地域の内外からいつでも集える常設の憩いの場を基町に設ける考えだ。「フレンドリーな雰囲気の間をつくりたい」と話した。